

大野城市 議会だより



大野城市議会
ホームページ

2023 令和5年
No.162

発行 大野城市議会
編集 広報委員会
令和5年8月15日

6

6月定例会



令和5年 9月定例会 (予定)

9月 1日(金)10:00~ 本会議 提案理由説明
6日(水)10:00~ 本会議 質疑・付託
7日(木)10:00~ 各常任委員会 11日迄
12日(火) 9:00~ 決算特別委員会 14日迄

19日(火) 9:30~ 本会議 一般質問
20日(水) 9:30~ 本会議 一般質問
22日(金)10:00~ 本会議 報告・討論・採決



平野保育園

主な記事

- 5月臨時会 P2
- 6月定例会 P3
- 委員会レポート P4~5
- 一般質問 P5~14
- 議会について知ろう P14

市民とともに歩む議会だより

次号163号
令和5年
11月15日発行

あなたの写真で
議会だよりの紙面を
飾ってみませんか?
(締切り 9月15日)

5月臨時会

令和5年5月臨時会を5月10日(水)に開催
6の案件を審議し、全て可決、承認。指名推選が2件。

審議結果一覧

令和5年5月臨時会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第38号議案	専決処分した事件の承認について(大野城市税条例の一部を改正する条例)	全会一致承認	—
第39号議案	専決処分した事件の承認について(大野城市都市計画税条例の一部を改正する条例)	//	—
第40号議案	専決処分した事件の承認について(大野城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	//	—
第41号議案	令和5年度大野城市一般会計補正予算(第2号)について	全会一致可決	予算委員会
第42号議案	大野城市監査委員の選任について	全会一致承認	—
—	筑慈苑施設組合議員の選挙	指名推選	—
—	福岡都市圏南部環境事業組合議員の選挙	//	—
—	閉会中における所管事務調査等の通知について	全会一致承認	—

5月臨時会 委員会レポート

物価高騰重点支援策について

予算委員会

第41号議案

令和5年度大野城市一般会計補正予算(第2号)について

問 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金の申請期限と対象者は

答 申請期限は令和5年10月31日で、対象者は令和5年6月1日時点で大野城市に住民登録のある令和5年度の住民税非課税世帯等。

問 給付対象となる世帯数は市内全世帯の何%にあたるか

答 約3割が対象となる。

問 子育て世帯生活支援特別給付金の申請期限は

答 令和6年2月29日までが申請期限となる。

問 マイナンバーカードの交付率は

答 4月末時点で69.3%。

問 小中学校の給食費の個人負担額はどれくらいになるのか

答 令和5年4月から令和6年3月までの牛乳代に相当する費用(月額951円)が給食費から減額されるため、小学校の給食費は月額4149円、中学校では牛乳代が全額減額となる。

問 アレルギーのある児童生徒の家庭への負担軽減はあるか

答 事情により給食を食べられない、牛乳を飲めない児童生徒の家庭も対象として進めていく考えである。

6月定例会

令和5年6月定例会を6月1日(木)から6月22日(木)まで開催
25の案件を審議し、全て可決、同意、承認。報告が6件。

審議結果一覧

令和5年6月定例会

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
第43号議案	大野城市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致可決	総務政策委員会
第44号議案	大野城市税条例の一部を改正する条例の制定について	//	//
第45号議案	町又は字の区域及びその名称の変更について	//	//
第46号議案	大野城市教育委員会委員の任命について	全会一致同意	-
第47号議案	大野城市教育委員会委員の任命について	//	-
第48号議案	大野城市教育委員会委員の任命について	//	-
第49号議案	筑紫公平委員会委員の選任について	//	-
第50号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第51号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第52号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第53号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第54号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第55号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第56号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第57号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第58号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第59号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第60号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第61号議案	大野城市農業委員会委員の任命について	//	-
第62号議案	令和5年度大野城市一般会計補正予算(第3号)について	全会一致可決	予算委員会
第63号議案	令和5年度大野城市下水道事業会計補正予算(第1号)について	//	//
第64号議案	令和5年度大野城市一般会計補正予算(第4号)について	//	//
第65号議案	令和5年度大野城市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	//	//
報告第2号	令和4年度大野城市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	報告	-
報告第3号	令和4年度大野城市水道事業会計予算繰越計算書について	//	-
報告第4号	令和5年度大野城市土地開発公社の予算について	//	-
報告第5号	令和5年度公益財団法人大野城まどかぴあの予算について	//	-
報告第6号	令和5年度公益財団法人おおのじょう緑のトラスト協会の予算について	//	-
報告第7号	令和5年度公益財団法人大野城市スポーツ協会の予算について	//	-
-	閉会中における所管事務調査等の通知について	全会一致承認	-
-	議員の派遣について	//	-

— 陳情関係 — (全議員に写しを配布)

陳情第4号	国に対し、適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情書
陳情第5号	全国靈感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情

議会の動き

5月8日	会派代表者会議	22日	中部十一市議会議長会(小郡市)	20日	本会議(4日目、一般質問)
10日	5月臨時会	24日	福岡県南市議会議長会(みやま市)	22日	議会運営委員会
	会派代表者会議	25日	議会運営委員会		本会議(最終日)
	総務政策委員会	31日	福岡県市議会議長会(柳川市)		全員協議会
	福祉教育委員会	6月1日	本会議(1日目)	7月10日	広報委員会
	都市経済委員会		全員協議会	21日	広報委員会
	予算委員会		予算委員会	31日	福岡県市議会議長会 議員研修会(久留米市)
	議会運営委員会	8日	九州市議会議長会(長崎県)		
11日	会派代表者会議	9日	本会議(2日目)		
	全員協議会		総務政策委員会		
	広報委員会	13日	予算委員会		
17日	会派代表者会議	14日	全国市議会議長会(東京都)		
		19日	本会議(3日目、一般質問)		



6月定例会 委員会レポート

第43号議案について

総務政策委員会

第43号議案

大野城市職員定数条例の一部を改正する
条例の制定について

問 執行部から説明のあった、早期に充足すべき職員数の目標人数である79人は、令和10年度までの5年間で増員するのか。もしくは一度に79名を採用していくのか

答 79人については、令和10年度までの5年間に平均して採用していく。

問 79名はどのような方を採用するのか。新卒者を採用するのか

答 採用については新規採用をベースに考えているが、社会情勢等、また、ニーズ等を踏まえながら専門職、経験職等も採用を検討しながら適宜適切な対応を行っていく。

問 今現在、国において就職氷河期世代の雇用促進の取組があるが、本市では就職氷河期世代の採用は検討しているか

答 職員の年齢構成の平準化がおおむねできており、就職氷河期世代の方も職員数の平均に沿った形で充足しているため、現時点では考えていない。

問 大野城市にゆかりのある方、住んでいる方などが市の職員であると安心できるという声があるが

答 市民サービスを提供する上では、職員は市内のことをよく知るべきであると考え。本市では、職員を行政区にインターンシップとして派遣しており、今後も地域とともに活動しながら地域のことを知るという取組を進めていく。

物価高騰支援本市独自支援策等は？

予算委員会

第64号議案

令和5年度大野城市一般会計補正予算(第4号)について

問 消防組合の借入額における構成市の負担割合について

答 負担割合は組合規約に定められており、25%が均等割、70%が人口割、5%が面積割となっている。

問 子ども食堂基盤整備支援事業補助金の対象となる団体数や期間について

答 補助対象となる、寄付や寄贈される食料品の取りまとめを行うフードバンクの運営団体は1団体で、補助期間は令和5年度4月から翌年3月に実施したものを対象としている。

問 多胎妊婦健康診査助成金の近隣自治体の状況と対象となる期間・周知方法について

答 現在、筑紫地区では那珂川市、春日市がすでに実施している(6月13日時点)。本市助成金の対象となる期間は令和5年4月1日以降に受診した分からで、周知方法については、母子健康手帳交付時に窓口で説明案内し、事業開始時、既に母子手帳交付済みの方には個別に通知等に対応する。

問 私立保育所等給食支援事業補助金の対象となる施設の範囲と数について

答 市内の認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所が対象で18施設となる。

問 市内のLPガス利用世帯割合とLPガス料金の一部補助の周知方法について

答 LPガス利用世帯割合は全世帯の55%で、一部補助についてはHP等で掲載する予定としている。

～これからの大野城を問う～

一般質問

注：★がついている内容を掲載しています。

各議員のタイトルにある二次元コードから映像を見ることができます。



氏名	件名
井福 大昌	★ランドセルクラブ(学童)の現場の声について
森 和也	・児童見守りシステム(通学見守りシステム)について ★子育て支援について
平田 不二香	★子どもたちの健やかな成長を促す大野城市であるために
岡部 かおり	・大野城総合公園の使いやすい施設づくりについて ★高齢者の社会参加について
福澤 信光	★生活道路及び通学路に隣接した道路の安全確保並びに交通マナーの徹底について
中村 真一	★子ども・子育て支援の充実について
河野 敏生	★大野城市立小中学校の教員の定数欠員問題について ・お弁当を準備できない中学生について
中村 慎一郎	・食事に関するアンケート調査の精度向上と目的の明確化について ★まどか号の運行状況と南ルート開設の要件および広域連携について
永利 恭子	★「未来をひらくにぎわいとやすらぎのコミュニティ都市」の具体的内容について ・中学校で昼食を食べていない子どもたちについて
河村 康之	・先の統一地方選挙における投票について ★福岡県手話言語条例の施行による本市の手話言語の普及と今後の取組みについて
大塚 みどり	★国民健康保険について
松崎 百合子	・小中学生へ最高の自校式給食の提供について ★高齢者等の通院等外出支援と公共交通の充実について ・個人情報保護と自衛隊等へ名簿提供について
平井 信太郎	★義務教育に於ける小中学校給食の無償化を見据えた対応と今後の中学校給食について ・自転車用ヘルメットについて ・小中学校のタブレット端末について
神田 徳良	★小中学校の特別支援学級の介助員について ・適応指導教室について
原田 真光	★公園の利活用と安全管理について ・ふるさと納税について
松崎 正和	★小中学校の給食無償化について
山上 高昭	★次の50年に向けて



映像は「まちの

ランドセルクラブ(学童保育一体型)の現場の声

井福 大昌



問 大野小学校のランドセルクラブでは、支援員が足りず、コーディネーターや市職員も、現場の手伝いをしているが、ランドセルクラブ運営の契約は仕様書どおり正しく履行されているか

答 一時的に支援員が配置基準を満たさない状況が発生していたため、受託者から理由書を提出させ、改善に向けた対応を指示している。早急に支援員を確保し、6月中に配置基準を満たす配置とすることを確認している。

問 大野小学校のランドセルクラブの利用児童数について、仕様書では本所建屋は72人の利用が目安として記載されているが、実際は平均約82人、最大時92人の利用となっている。ハード面の環境が整っていないのではないか

答 仕様書に記載した児童数計72人は、支援員配置の参考とするための目安であり、人数の上限

を規定したものではない。国の基準を当てはめると、利用の目安人数は約83人であり、国の基準をおおむね確保できている。しかし、国の基準を上回る場合もあり、ハード面について課題があると認識している。

問 大野小学校では、以前より学童本所建屋の増築や改築を望む声が上がっていたが、いまだ改築・増築されていない。一時的な措置としてプレハブの設置などは考えられないか

答 今ある施設を有効に最大限活用するという基本的な考えの下、まずは普通教室の活用が対応策と考えている。現在の普通教室の活用状況等を踏まえた課題を一つ一つ検証し、プレハブ設置も選択肢の一つとして、ランドセルクラブ事業の改善に取り組んでいく。



映像は「まちの

安心して子どもを産み育てられるまち大野城

森 和也



問 本市の子どもの数(15歳未満人口)は、2017年1月、2022年1月時点で、それぞれ何人か

答 1月1日時点で2017年は1万5825人、2022年は1万5779人で、46人減少している。

問 子ども医療費の無償化について、どのように取り組んでいるか

答 3歳未満の乳幼児は入院・通院ともに本人負担額を無料とし、3歳から中学3年生までは、入院は一律1月当たり上限3500円、通院は子どもの年齢に応じて、本人負担の上限額を設定し、医療費の助成を行っている。

問 子育て世帯へのおむつの無償化についてどのように考えているか

答 子育て世帯のおむつの無償化については、子育て世帯の経済的負担の軽減のほか、実施方法によっては子どもや保護者の見守りにもつながるものであると考えており、今後、近隣自治体と歩調を合わせた事業実施の可能性について協議

を行うとともに、子育て世代のニーズの把握や、事業のあり方について調査していく。

問 小中学校の給食費の無償化について、どのように考えているか

答 政府においては、今後調査検討を行う段階であり、現時点で明確な方向性は示されていない。市としては、今後も国の動向等の情報の収集等に努めながら、市として何らかの判断が必要となった場合は迅速かつ適切に対応できるよう、本市の給食の現状を踏まえた対応策等について検討していく。





映像は「まちの」

子どもたちの健やかな成長を 促す大野城へ

平田 不二香



問 医療的ケア児への教育的支援についての本市の見解は

答 インクルーシブ社会の実現を目指す上で、医療的ケア児を含め全ての子どもの教育を受ける権利を守ることは、なによりも重要である。今後も医療的ケア児の生命の安全を最優先に、安全で最適な学びの場になり得るかということを第一に考え、環境整備や支援体制作りを、関係機関と連携していく。

問 子ども医療費の助成対象を高校生世代まで拡大できないか

答 筑紫地区内では、18歳以下の医療費無償化に向けて検討が進められており、適切に判断して対応できるよう検討を進める。また、全国一律の制度として創設するように国に強く要望している。

問 熱中症予防のためには水分補給が必要だが、学校によって、水分補給の指導に違いがある。ルールを統一してはどうか

答 水筒が空になった時などには水道水での水分補給を促し、また、水道水を飲むことに抵抗がある児童には補充用のペットボトルの持ち込みを認めるなど、全校で子供たちが安全で安心した水分補給ができるよう体制を整える。

問 ランドセルクラブでの児童の水分補給の方法は。また、ランドセルクラブによる対応の違いは把握しているか

答 水筒等を持参し、忘れた場合は支援員が提供することを基本としているが、一部のランドセルクラブで忘れた場合の対応に違いがあった。全てのランドセルクラブで必要な水分補給を確実に行うことで、子どもたちの活動を制限することがないように指導していく。



映像は「まちの」

加齢性難聴者に補聴器補助金を！

岡部 かおり



問 高齢化社会における難聴者のためのバリアフリーの重要性について伺う

答 加齢により難聴になる人は多く、今後、高齢化により難聴の人が増加することが見込まれる。国立長寿医療研究センターが実施した調査では、75歳から79歳の人のうち、軽度難聴が約5割、中度以上の難聴が約2割で、加齢とともにその割合が高まっている。この調査結果から本市でも軽度、中度の難聴の高齢者が相当数いることが推測される。

難聴の方の聞こえの度合いは、人によって様々であり、また外見上は難聴であるかどうか分かりにくいいため、本人が困っていても周囲の人に気付かれにくい側面がある。そのため、必要とする人に応じた適切な配慮や支援ができるよう、さまざまな社会的な障壁を取り除いていくことは、高齢者の社会参加を促進するうえで、非常に重要なことであると考えます。

問 加齢性難聴者の補聴器購入の助成について伺う

答 市としては、まずは市内の難聴の高齢者の方の生活実態や社会参加の状況などの調査を実施し、あわせて補聴器購入に係る助成事業を実施している自治体の助成内容や、利用状況等についても調査を行いたい。

これらの調査結果も踏まえ、難聴の高齢者の方に対する補聴器購入に係る本市独自の助成事業の実施について、早期に判断したいと考える。





映像は「115」

道路の安全確保並びに交通マナーの徹底を!

福澤 信光



問 広域幹線道路及び市内幹線道路の状況把握はできているのか

答 国道及び県道の広域幹線道路の状態や交通安全施設等の状況把握は、国道が日曜日以外、県道が土・日・祝日以外の毎日、市内幹線道路については市職員が巡回し、状況確認を行っている。

問 本市は近年、連続立体交差事業を始め様々な整備を実施し、街の景観も見栄えがするようになった。また、大きな道路、いわゆる幹線道路も整備がされた。しかし、生活道路に関して、例えばガードレールのサビが酷く管理が行き届いていない所が市内各地で多数見受けられる。こういった生活道路の劣化した部分を改善することが、景観も良くなる第一歩だと考えるが、市としての見解は

答 交通安全施設を適切に管理することは、市民の安全確保及び景観の向上につながるものと考え。劣化状況等について通報や連絡を受けた場合は、まず職員が現地を確認し、交通安全施設等に機能の低下や景観上の支障がある場合は、早急に修繕などの対応を行っている。

問 最近、横断歩道で信号が変わるのを待つ子供たちのマナーに対して気になる点がある。教育部として児童生徒に対する指導はどのようにしているのか

答 安全教育の実施や、教職員による校区の見回り指導も実施しており、登下校時のマナーが守られていない場合には、随時児童生徒への指導や保護者へ指導の呼びかけを行っている。



映像は「115」

子育て短期支援事業とは

中村 真一



問 子育て短期支援事業の目的と開始時期は

答 児童の保護者が疾病その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった場合に、児童養護施設等において一定期間保護を行うことで児童及び保護者の福祉の増進を図ることを目的として令和4年9月に開始。宿泊を伴う預りのショートステイと、宿泊を伴わない預りのトワイライトステイを実施している。

問 支援の対象は

答 市内に住所を有する18歳未満の児童。

問 実施している施設数と場所は

答 ショートステイは、2歳未満対象の福岡市博多区の福岡乳児院、2歳以上対象の久山町の若葉荘、年齢制限のない本市大城のこどもと女性包括支援センターhalu、大刀洗町の清心乳児園の4施設である。
トワイライトステイは、こどもと女性包括支援センターhaluの1施設である。

問 施設を利用する際の申請方法は

答 こども健康課に利用申請書を提出し、こども健康課が保護者に面談を実施した上で、利用の可否を判断。利用決定後、保護者が施設と連絡を取り、入所となる。

問 子育て短期支援臨時特例事業とは

答 短期間、親子で施設に滞在してもらい、保護者の身体的、精神的な疲れなどを回復させるための支援や児童の養育方法等についての支援を行う事業で、令和5年4月に開始した。
実施施設は、本市大城のこどもと女性包括支援センターhaluの1施設で、利用期間は1回につき7日以内である。





映像は「まちの」

市立小中学校の先生が足りない問題の解決を

河野 敏生



問 大野城市の小中学校の教員の定数欠員の状況は

答 昨年度4月時点で小学校3名、中学校2名の計5名。9月時点で小学校4名、中学校2名の計6名。今年度5月末時点で小学校2名、中学校4名の計6名の教職員が不足している。

問 2015年の文科省の調査で、過労死ラインである時間外勤務の月80時間を超えた教員は小学校で33.5%、中学校で57.7%だった。また、昨年の福岡県の小学校教員採用試験は倍率1.3倍で日本で最下位だった。

「先生の業務が大変」→「学生が採用試験を敬遠」→「新年度に先生が足りない」という悪循環が生じている。

このような福岡県で教職員の定数欠員問題を根本的に解決するためには、働き方改革を着実に進めていくしかないと考えます。

大野城市として教職員の働き方改革についての取組は

答 大野城市教職員の働き方改革取組指針を策定し、教職員の意識改革、業務改善の推進、部活動の負担軽減、教職員の役割の見直しと専門スタッフの活用等、4つの観点から様々な取組を実施することとしている。

また福岡教育大学を含む計8大学と提携し、教職を志す学生を学習活動及び体験学習の支援を行うヤングアドバイザーとして学校へ派遣し、学生が教員という職業に対する魅力に触れる機会を提供する取組を独自に行っている。



映像は「まちの」

まどか号の南ルート及び公共交通の現状は？

中村 慎一郎



問 南ルートの開設要件と進捗状況は

答 まどか号は運行対象地域を「連続した公共交通空白地が広がる北・東地区を中心として運行する」と定めており、南地区には、連続した公共交通空白地がないため、コミュニティバスは、現在運行していない。令和6年度までをめどに策定を進めている大野城市地域公共交通計画の中で、南地区を含めた市域全体の公共交通の在り方について検討する。

問 春日市や太宰府市とのコミュニティバスの広域連携は

答 筑紫地区5市の公共交通担当者会議を開催し、課題の共有や相互乗り入れ等について協議を進めており、さらなる広域連携の強化、拡充に努めている。

問 ふれあい号、おげんき号、なかよし号の利用状況について

答 高齢者移動支援事業として、コミュニティ運営協議会が運営主体となり、南地区では、ふれあい号、東地区では、おげんき号を運行している。なかよし号は、福岡都市圏南部最終処分場周辺環境整備事業の一環として、中区がタクシー会社に委託し運行している。令和4年度の1日平均利用者数は、ふれあい号が24.5人、おげんき号が7.2人、なかよし号は12.1人となっている。ふれあい号とおげんき号のバス停は、地元区民などの意見を聞いた上で、各コミュニティ運営協議会において設置場所を決定しており、なかよし号のバス停は、事業主体の中区が区民の意見を参考に決めている。



映像は「まちの未来」

市長が一般市民と対話する機会を

永利 恭子



問 総合計画に掲げる市の都市将来像は抽象的である。具体的な市の将来像とは

答 都市将来像は、計画を推進することで実現を目指すまちの姿を表したもので、おおむね10年後のまちの姿として設定している。これまで地域と行政が共に築き上げてきた、コミュニティによるまちづくりにさらに磨きをかけ、一人一人が主体的にまちづくりに参画し、互いに協力し合うことで、将来を見据えた、まちのにぎわいとやすらぎの実現を図り、可能性に満ちた未来をひらきながら、先人たちが築いたコミュニティ都市、ふるさと大野城を次の世代につないでいこうという想いが込められている。

問 コミュニティでは構成員相互のコミュニケーション=対話が必要。タウンミーティングなど市長が一般市民と対話する機会を設けてはどうか

答 各種団体の会合や催物、イベント等、市民と直接会い話す機会をつくるよう心がけ実行して

いる。市長として一回一回の出会いを大切に、いかに市民の声に真摯に耳を傾け、それを今後の市政に反映することはもとより、市政に対する相互理解を深め、市民とつくり上げるコミュニティによるまちづくりに活かしていくかが重要だと考える。

また、市では市民アンケートや市民参加ワークショップ、パブリックコメント、市民委員、区長との意見交換など、市民の声を聴く場を設けている。今後も、市政に対する市民の信頼を高めるため、様々な機会を活かして、市民の皆さまの声を聴く機会を積極的に設けるよう努めている。



映像は「まちの未来」

手話を知り・手話を学び・手話を使おう

河村 康之



問 令和5年4月1日、福岡県でようやく手話言語条例が施行されたが、この条例の内容と施行の目的は

答 福岡県手話言語条例は、障害者の権利に関する条約及び障害者基本法を踏まえて制定されたもので、条例の目的は、手話が言語であるという認識の下、手話の普及、その他の手話を使用した環境の整備に関する基本理念等を定め、聴覚に障がいのある方が手話を使い、日常生活や社会生活を安心して営むことができる社会の実現に寄与することとされている。市町村の役割は、条例第5条に「市町村は、基本理念にのっとり、手話の普及その他の手話を使用しやすい環境の整備に努めるものとする」とされている。

問 聴覚に障がいのある方とのコミュニケーションのツールは、手話、筆談、空書等があるが、多く

の方が手話を使用する。多くの方が使う手話を「知り、学び、使う」ことが手話言語条例の制定の目指すべきところだと考える。本市もさらなる手話の普及として、市のホームページや広報大野城に手話の基本的な意味や表現をイラストで掲載してはどうか

答 多くの方が手話に興味を持つきっかけとして、市の広報やホームページ等で、イラストなどを活用した啓発を行うことは効果的であると考えている。今後、動画も含めた効果的な啓発の実施に向けて検討を進めたい。





映像は「まちの」

国民健康保険の安定運営に向けて

大塚 みどり



問 本市及び筑紫地区の国民健康保険事業費納付金と法定外繰入額の状況は

答 令和3年度の本市の国民健康保険事業費納付金は25億4914万9000円で、被保険者1人当たり約14万円。筑紫地区5市の平均は約13万5000円で本市が最も高い。赤字補てんのための法定外繰入金は5億8368万3000円で、被保険者1人当たり約3万2000円。筑紫地区5市の平均は約1万3000円で、これも本市が最も高い。

問 令和6年度から法定外繰入を行う場合、国はペナルティーを科すと聞いているが、その内容は

答 ペナルティーの内容は現時点では示されていないが、県から市に交付される特別交付金の算定に影響が生じている。この交付金の算定は市の様々な取組に関する加点項目があり、最終的な獲得点数に応じて交付金の額が決まるが、その中に赤字解消の項目がある。本市はその項目の

加点がゼロとなり、赤字解消した市町村に比べ交付金額は少ない。

問 今後の国民健康保険税率の見込み、市民への啓発と周知の考えは

答 医療費の抑制、収納率の向上における成果を着実に上げ、大野城市国民健康保険運営協議会の意見も踏まえ、適正な税率について検討していく。本来は一般会計からの法定外繰入れを行わず、歳入歳出の収支の均衡を図るべきであるため、広報誌やホームページへの掲載等を通じて、医療費の抑制及び税率見直しの必要性にご理解とご協力をいただけるよう努めていく。



映像は「まちの」

高齢者の外出支援 南地区へのまどか号運行を

松崎 百合子



問 坂道が多い南・東地区の高齢者等の外出支援と公共交通充実についての考えは

答 外出支援として南・東地区では高齢者移動支援事業を実施しているが、ボランティア運転士の担い手不足等に課題があると考えている。また、市民アンケート調査では、南・東地区の交通に関する満足度が他の地区に比べ低く、公共交通手段に課題があると考えている。今年度は公共交通に関する実態調査等を実施し、各地区における詳細な課題等の把握と分析を行い、令和6年度に策定予定の地域公共交通計画の中で、高齢者の移動に関する課題等の解決を図っていく予定。

地区におけるまどか号の導入についても令和6年度までに検討する。

問 多くの高齢者が免許証返納後の外出に不安をもっている。オンデマンド交通導入についての考えは

答 オンデマンド交通は、利用者が希望する日時と行き先の予約に応じて、AIが最適なルートを選ぶことで効率よく運行できるもの。その一方で予約状況により移動時間が長くなる等の課題もある。導入は、多様な交通形態の選択肢の一つとして、公共交通ネットワークの再構築を進める中で、総合的に検討したい。





映像は「155」

学校給食の無償化とランチ給食の推進を

平井 信太郎



問 中学校の選択制給食で給食費が無償化になった場合、家庭からの弁当やパン食への対応は

答 中学校の給食費を無償化する場合は、弁当やパンを選択する生徒の保護者に対し、公平に無償化の恩恵を受けられる制度を構築し、ランチ給食と同額程度の対応を検討する必要がある。

問 中学校の選択制給食と小学校のような全員制自校式給食との違いは

答 中学校の選択制給食は、ランチ給食を基本とし生徒や家庭の判断でランチ給食や弁当、パン食を1日単位で選択できるもの。また食缶法式の全員制給食と比較すると配膳等の時間を年間約30～45時間短縮でき、教育活動の有益な時間の確保ができる。

問 中学校のランチ給食の状況は

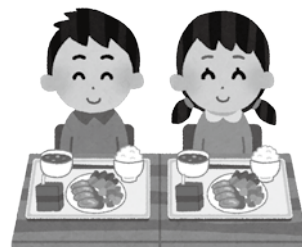
答 1日当たりの平均食数は令和4年度で770食、令和5年5月には1006食で確実に伸びている。

問 ランチ給食の周知と利用率向上のため中学校の生徒、小学校高学年の児童、保護者に対し無償でランチ給食を食する機会を設けてはどうか

答 試食会は、効果的な周知方法であると考えており、実施に向けて検討を進める。

問 義務教育に於ける小中学校の給食費の無償化と中学校の選択制給食の普及向上について市長の見解は

答 給食費の無償化は、国の動向を注視し市長会を通じた意見具申等必要な対応を続けていく。中学校の選択制給食は様々な取組と改善を加え、課題を着実に解決し、子どもたちの福祉向上につながる本市独自の中学校給食制度として、更に充実させていく。



映像は「155」

特別支援学級の介助員の増員を

神田 徳良



問 小中学校における特別支援学級の介助員の現状は

答 今年度、本市の小中学校全15校の特別支援学級は合計78学級で、416人の児童生徒が在籍している。介助員等の配置状況としては、日常的に介助を行う介助員を計35人、学級運営サポートティーチャーを計10人、合計で45人を児童生徒や学級の状況に応じて配置している。

問 個性が違う児童生徒一人一人と向き合う際、同時に何人もの児童生徒の見守りや学習サポートをすることができず、安全の確保や学習支援が円滑に進まない事がある。また、現場での人員不足を解消し教師の仕事量を減らすことは、教師にも子どもたちにも、有益なことである。特別支援学級の児童生徒が増加傾向にある中で、現在の介助員の配置人数は適切か

答 1学級当たりの配置人数を筑紫地区の他市と比較すると特に少ない状況ではない。しかし特別支援学級に在籍する児童生徒はこの5年間で約2倍となっており、教育委員会としては、今後、介助員の増員が必要になった場合には、適切に対応し、円滑な運営を維持していく。





映像は「まちの」

安全安心で利用される公園に向けて

原田 真光



問 利用者が安心して楽しく使える公園づくりが必要だと考えるがいかがか

答 市内の公園では、立地場所や社会環境等の変化により、市民のニーズとのずれが生じ、利用者が少ない公園がある。利用者の少ない公園の利活用や再編、統廃合を検討するにあたっては、特定の目的に特化した遊具の設置や、特定の利用目的での活用も含めて、柔軟な管理運営の在り方を検討していく。

問 私たちの憩いの場の公園で、時折痛ましい事故が発生したというニュースを聞く。安全安心な利用のために、本市が行っている施策について伺う

答 公園施設の安全対策として、遊具を対象とした有資格者による法定点検を年1回実施し、職員による自主点検を年3回実施しているほか、定期的

な巡回を行っている。市で実施する点検や巡回以外に、公園の安全管理に関する市民の声や地元住民からの要望、問合せが寄せられた場合は、迅速に市職員で現地を確認し、公園施設に重大な不具合等が発見されれば、状況に応じて使用を停止する処置等を行った上で、速やかに修繕を実施している。



映像は「まちの」

選択制での中学校給食の無償化はあり得ない

松崎 正和



問 給食無償化は、少子化対策の目玉の一つと位置づけられていることから、今後、国の施策として、多くの自治体の実施に向けた検討を始めることが予測されるが、市長は給食無償化に取り組む考えはあるか

答 給食費の無償化には継続的かつ安定的な財源の確保が必要であることから、国が政策として一定の方向を示すべきではないかと考える。市としては、今後も国の動向等の情報収集に努めながら、給食無償化に関する何らかの判断が必要となった場合に、迅速かつ適切に対応できるように検討を進めていきたい。

問 無償化は給食費を払っている事が前提要件であることから、小学校では財源さえ確保出来ればすぐにでも実施可能だが、中学校の場合は「選択制」であることから、現在給食費を払って

いるのは全生徒の3割程度で、約7割は家庭弁当等自前の昼食。このような状況下で中学校給食の無償化はあり得ないと思うがどうか

答 現在の選択制の下で給食の無償化を実施する場合は、公平に保護者負担を軽減する観点から、ランチ給食を利用している生徒だけでなく、弁当やパンを選択する生徒に対しても、公平に無償化の恩恵が受けられる工夫をしながら、制度の構築を検討する必要があると考えている。





いっしょに歩こう

歴史を受け継ぎ未来へつなげるために

山上 高昭



問 市制50周年の意義と市制50周年記念事業の成果について

答 市制50周年の意義は、先人たちが紡いできた、ふるさと大野城への思いを、大切に、これからの50年、100年先の未来につなげていくことだと考えている。記念事業を契機として、これまで築き上げられてきた市の歴史と先人たちの想いに触れ、これからの大野城市を思い描く記憶に残る出来事になったと思う。

問 大野城の歴史記録の保存・公開について

答 大野城市史をPDFデータで保存しており、ホームページ上での公開は技術的には可能だが、権利関係の整理などの課題があり、公開については、今後、調査・研究していく。

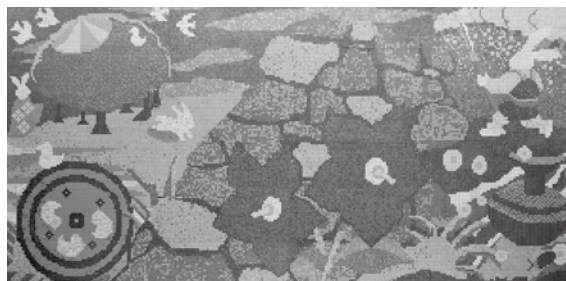
問 大野城の歴史学習や教育について

答 学校連携事業では、大野城市の歴史に関するカ

リキュラムを作成し、歴史学習や郷土学習に取り組んでいる。また、生涯学習事業では、市内にある史跡や文化財などを深く理解してもらう史跡公開事業や現場説明会などに取り組んでいる。

問 大野城の歴史活用について

答 大野城心のふるさと館を拠点に、文化財に関するデジタルデータを市内外に積極的に発信し、本市の魅力を多くの方々に知ってもらうことで、シティプロモーションにつなげていく。



▲ペットボトルアート

議会について知ろう vol.8

議長・副議長

議長と副議長は、市議会議員の中から選挙で1名ずつ選ばれます。

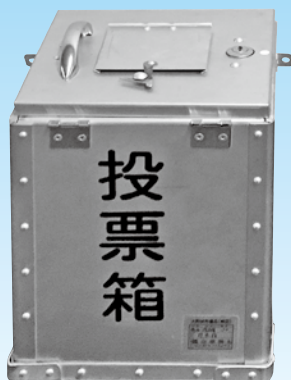
議長

議会を代表するとともに会議を進め、まとめる仕事をしています。



副議長

議長の仕事を助けたり議長がいない時などに議長の代わりをします。



もっと詳しく!

大野城市議会では5月臨時会において、議員20名の投票による選挙を行い、正副議長が決定しました。



▲投票のようす

全国市議会議長会表彰 受賞報告

第99回全国市議会議長会 定期総会において、表彰を受けました。



永年勤続30年
松崎 正和 議員



議長在任4年
山上 高昭 議員

中学校ランチ給食サービスが 利用しやすくなりました!

クリスマス
特別メニュー



便利な電子注文(PECOFREE)ができます



市ホームページ

中学校
ランチ給食
サービス



×

PECO
FREE



ランチ給食のメリット

1食の料金 **250円**

※学校に月間券を申込みことで
1カ月分まとめて注文もできます

電子注文(PECOFREE)のメリット

- ☑ LINEで注文できる
- ☑ どこからでも注文・キャンセルできる
- ☑ まとめて注文もできる

短歌

- 隅田橋東京は隅田川ここの御笠川大野城より歩けば夕陽
- 日照り雨止んで乙金台公園に四王寺山が間近に見える
おとがなだいこうえん
- 盛りあがるあの木なんの木知らないわたし招いているよ四王寺山の木
(乙金台 泉 満夫さん)
- 半導体を制するものが世界を制す千歳工場は世界最先端といふ
- 半導体かつて五十%が今十%世界をめざそう熊本や千歳で
- 公園のベンチに憩ふ若夫婦笑みなごやかに襦袢かへをり
(若草 高名 稔さん)
- 風に揺れ 白きズバナは 波模様 幼き頃の ままごと遊び
- 陽を浴びて 山もこもこと 動きだす 煌く青葉 生を問かけ
(つつじヶ丘 松野直美さん)
- 灯明香の香ゆれて掌を合わす 心づくしを 緩りどうぞ
どうみょうこう
- 厚い日々 火も又涼しと 言葉では 修業の身 涼を求めん
(乙金台 小野敬子さん)
- 日曜日集団接種を席で待ち お喋りはせず笑顔も見れず
- 楽しみは自らつくと考慮する 散歩に川柳短歌に俳句を
- ラジオから青春時代の歌謡曲 流れて懐かし歌手の方
(緑ヶ丘 平井静代さん)
- 屋形船 う飼いをたのしみ 筑後川 遠い昔の 思い出となり
- 影法師 後や前と 付いて来る 太陽ガラガラ すべてに影を
(白木原 ミドリさん)

イラスト



(錦町 辻 大樹さん)



(白木原 ミドリさん)

作品掲載希望者募集

議会だよりでは、みなさんからいただいた作品を紹介します。

●募集作品

・俳句・川柳・短歌・写真・イラストなど

●応募方法

住所、氏名、電話番号を記入して、
議会事務局「議会だより作品募集」係へ郵送または
直接窓口へ 〒816-8510 大野城市曙町二丁目2番1号
TEL. 580-1938

●注意事項

- ・未発表のものに限ります
- ・人物の写真については、掲載の了解を得てください。
- ・提出された作品は、返却しません。
- ・ペンネームでも可とします。
- ・応募多数の場合は広報委員会で厳選して決定します。
あらかじめご了承ください。

●応募締切

11月15日号掲載は9月15日まで



小・中学生からの応募もお待ちしております

川柳

- 昨今の暗いニュースに心が痛む
- 今日も無事仕事終わりで感謝する
- 白線に守られ歩行有り難き
(緑ヶ丘 平井静代さん)

俳句

- 午前中雨傘さして帰路日傘
- 春風に触れて楽しいサイクリング
(緑ヶ丘 平井静代さん)
- 探しびと 出雲の旅路 春椿
- 傘の花 クルクル回りて 梅雨空
(つつじヶ丘 松野直美さん)
- 手に菖蒲巫女舞ふ神前薄日差す
- ビールでも飲もうよ友と押す暖簾
- 梅実漬母の歳時記引継ぎぬ
(牛頸 西山光法さん)

広報委員会

委員長	河村康之
副委員長	中村慎一朗
委員	山上高昭良
委員	神田徳良生
委員	河野敏生
委員	岡部かおり

あんでな

今年も8月15日の終戦の日を迎えます。1945年のこの日、ラジオから「玉音放送」が流れ、戦争で負けたことが告げられ、以来日本では8月15日を「終戦記念日」としています。しかし、日本の対戦国は降伏文書に調印した9月2日を「終戦記念日」「対日戦勝記念日」と位置づけており、昭和天皇からの「玉音放送」イコール「戦争が終わった日」と思うのは日本人として当たり前かも知れません。戦後、凄まじい国民の復興力で今日の平和を築きあげた日本のように、戦火の続くウクライナにも一日も早い「終戦と平和」の訪れを願うものであります。
(河村康之)